



1294 「“いつ羽化するか”の決断で決まるセミの生と死」7/5

①今年初の成虫のセミ

7月4日、水特の時のプールサイド。セミが飛んできて管理室に入って行きました。中でひっくり返っていました。捕まえると何ゼミか迷いました。クマゼミ？でもサイズが小さい。グーグルレンズでは「クマゼミ」の可能性が高いと出ました。

これをプールの外に投げるのにブーメランのように戻ってきてはひっくり返っています。共鳴板が鳴っているのに鳴かない。生育不良のクマゼミかな？最後には体育館裏の林に飛ばすことができました。セミが出てくるにはまだ早い。

「先日の大雨で、たまらなくなくなって出てきた？」との声がありました。



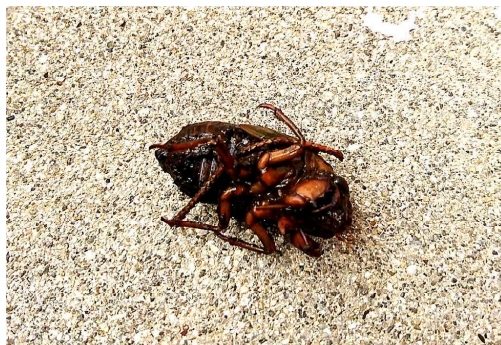
②死んだセミの幼虫

7月5日。4年生が幼虫を見せにきました。死んでいます。羽化する幼虫の平均的なサイズ。体が黒くて湿っていて、一部がムラサキ色ににぶく光っています。

「何で死んだのだろう??」

昨日の声を思い出しました。羽化するセミの巣穴は地上に穴が開いています。その巣穴に雨水が入り込んでおぼれ死んだと思われます。

セミの幼虫がもぐっている東庭の大部分は駐車場になることがわかりました。みんな、早く出てこい。



★ 二日続けてセミの発見。

「セミは羽化直前の状態で止めて羽化の時期は自分で決めることができる」という報告（蟬雑記帳）を見つけました。「ミンミンゼミの場合、6月の終わりに羽化できる状態」とも。クマゼミもかな？

早く羽化することを決めて成虫になったセミ、羽化を待つことを決めておぼれ死んだセミ。

生死を分けた決断。ということでしょうか？